

(5) コミュニケーション関係学における授業モデルの検討

サイバー・キャンパス・コンソーシアムのコミュニケーション関係学グループは、22年6月、9月、12月の3回開催し、学士力の実現に求められるICT活用の授業モデルの検討を行った。

ケーススタディーを通じてコミュニケーションを批判的に分析できる能力や、メディアリテラシーのメカニズムを学び、自らの行動に実践的に応用できる能力を身に付けさせる授業デザインを2例をとり上げることにした。

一つは、コミュニケーションの重要性を考え、批判的に分析できるようにするため、グループによる学習成果をWeb上に公開し、社会の評価を取り入れながら学びを振り返る授業モデルとした。

二つは、メディアによるコミュニケーションの特徴や効果を学ぶため、メディア産業の社会人や実務経験者を交えた学習をチームで行い、学習成果を相互に評価し、相互に学び合う授業モデルとした。